

<先週の説教から>

『ルカ 59 — 愛は誤解を受けるもの！』

武田 真治 牧師

詩編 23:1~6 ルカ福音書 7:36~39

キリスト教は、歴史的にはユダヤ教から出てきた宗教ですが、それまでのユダヤ教と比べると大きく変わりました。特に礼拝の在り方がかなり違った形になりました。何より目に着くのは、礼拝の中に女性や子供たちが一緒に集うようになったことです。それまでのユダヤ教の神殿や会堂での祭儀には男性のみしか参加できなかったからです。キリスト教の礼拝に女性が集えるようになったのには今日の聖書の箇所のような出来事があったからだと言い得ます。

即ち、イエス様がファリサイ派の人の家に招待されてお食事の席に着いておられた時に、ある一人の女性が（そこに招待されてもいいい）イエス様の後ろに回り「イエスの足もとに近寄り、泣きながらその足を涙でぬらし始め、自分の髪の毛でぬぐい、香水を塗った」でした。この人は、かつてイエス様に病を癒やして頂いたか、悪霊を追い出して頂いたか、イエス様のお話に感動したのか、その事情は書かれてありませんが、イエス様から大きな救いを与えられ時、その場では感謝の思いをきっと十分には伝えられなかっただのしよう。なんとかしてイエス様に御礼をしたいと願っていたのしよう、御足へのこだわりは私のような者の所までよく足を運んでくださったという思いの表れとも言い得ます。また、香水を塗ったのは少しでもイエス様のお気持ちを和らげてもらいたいと願ったのしよう。彼女なりに精一杯の感謝を表わす行為だったのではないのしようか？

ただ、この驚くような行為を、側で見ていたファリサイ派はイエス様が「預言者なら、自分に触れている女がだれで、どんな人が分かるはずだ。罪深い女なのに」と考えたのでした。これは、彼らが汚れていると考える女性の振る舞いをイエス様が全く止めることもなく、させるままにさせておられることへの失望と批判の想いでした。その場にいた他の人たちも（もしかしたら弟子たちも）大なり小なり、同じような

ことを思ったのではないか。どうか。

それに対してイエス様は「言っておく、この人が多くの罪を赦されたことは、わたしに示した愛の大きさでわかる」と言されました。この言葉は、この女性の行為を全面的に受け入れておられるだけでなく、とても素晴らしい振る舞い=とても大きな愛の行為であると最大限に評価されたのでした。

おおよそ、キリスト教に於いては、イエス様が認められたことや評価されたことは何より尊重されますし、それが様々に基準とされます。いつもイエス様の言葉や行動に戻って考え、検討されています。ここで、この女性の行為をイエス様が受け止められ、とても評価されたことが、後々のキリスト教の在り方に大きく影響を与えたことは明白です。礼拝の奉仕も女性が加わることは当たり前のこととなったのです！

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 11月26日(水) 20:00
II. 11月27日(木) 10:30

聖書研究：ヨブ記

祈祷主題：アドベント音楽祭を覚えて

担当者：(水) SY (木) AT

祈りに覚える人：IKさん ITさん

*フェひつじ雲の会 11月24日(月) 10:00～

【教勢報告】

主日礼拝 男16 女45 計61

祈祷会 I. 男5 女1 計6 II. 男1 女4 計5

日曜学校 幼稚科3 小中科6 計9

ハンナの会(11月18日火) 男2 女5 計7

【次週礼拝】*待降節第一主日 11月 30日(日)

聖書：詩編 56:1～14

ヨハネの黙示録 7:13～17

説教：「詩編56 — 私の涙を替えてください」

武田 真治 牧師

讃美歌：242(1)、231(1)、32、聖歌隊229、

【次週当番表】 182、528、91(1)

司式：IK長老 奏楽：NY 礼拝：HN長老

献金：MH YT 受付：HH OK

会堂準備：IN IY IA IK

看板：II 週報：TM お花：

【次週集会予定】

礼拝前：・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後：・アドベント音楽祭 13:30～14:25

66 - 47

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2025年 11月 23日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549